

シニアライフ・コンシェルジュ おすすめスポット



フーテンの寅像・さくら像と記念碑

旅立とうとする寅さんが振り返り、さくらを見ている。そんなシーンをモチーフにしたフーテンの寅像と見送るさくら像や、寅さんの名台詞を山田洋次監督の直筆で刻んだ映画の碑など、柴又は寅さんファンが歓喜するスポットが多数。



TORAsan cafe

寅さんは第41作目『寅次郎心の旅路』でウィーンへ。その作品にちなみ、ウィーンのカフェをイメージした店内で、人気のTORAチーノ(寅さんのラテアートが施されている)やサイフォンコーヒー、ザッハトルテなどのデザートを楽しめます。



記念撮影コーナー

来館の記念に寅さんと一緒に記念撮影できるのは、日本広しといえどもここだけです(500円)。柴又帝釈天の参道や矢切の渡しをバックに、とっておきの一枚を撮影できます。



映画のワンシーンに自分も入り込んだような気分になれる。「くるまや」の撮影スタジオ。上を見上げると撮影スタッフの姿が!

列車を再現したコーナーなど作品の世界観に浸るだけでなく、昭和という時代に思いを馳せることができる空間が広がっています。新設されたエンディングコーナーでは、寅さんが愛したマドンナの姿や映画のポスターがスクリーンに映し出され、「また来てくれよな」というメッセージを受けとって退館するという粋な仕掛けも。寅さんが好きな方はもちろんですが、記念館に来て初めて寅さんに興味を持っていただけでも構わないと思うんです。寅さんという作品も含めて昭和の時代の良さを

感じ、ほんわかとお過ごしいただけたら」と井上さんが話すように、寅さんをリアルタイムで知らない世代も多く来館し、令和2年10月には入館者数500万人を達成しました。併設された山田洋次ミュージアムでは、山田監督や映画というエンターテインメントの魅力に触れることができます。お得な割引チケットが用意されている、庭園が美しい「山本亭」と併せて3館を堪能した後に柴又帝釈天で初詣を行えば、新年早々清々しい気持ちになれるに違いありません。



参拝者が後を絶たない柴又帝釈天とその参道、山本亭をはじめとする情緒豊かな地域である「葛飾柴又の文化的景観」は、平成30年に国の重要文化的景観に選ばれています。

寅さんの故郷・柴又にある記念館

フーテンの寅こと車寅次郎が主人公の『男はつらいよ』は、柴又を舞台とした不朽の名作です。柴又駅に降り立ち、寅さんが産湯を使ったという柴又帝釈天へと続く参道を歩くと、作品を思い出す場所が点在しています。そんな寅さ

んゆかりの地にある葛飾柴又寅さん記念館を訪ね、平成30年にリニューアルオープンした館内を、広報の井上さんに案内していただきます。



もう『男はつらいよ』の撮影現場。山田洋次監督の指示のもと忙しく動き回る撮影スタッフの等身大パネルが並んでいます。「このパネルに登場する山田組の方の中には、いまでも現役で活躍されている方がいらつしゃいます」と井上さん。さらに奥へと進むと、寅さんの妹・さくら役の倍賞千恵子さんがナレーションを担当したジオラマが並び、その先にはお団子屋「くるまや」のセットが置かれています。「これは大船撮影所で組んでいたセットをそのまま移設しました。記念撮影される方が多いですね」という井上さんの解説に混じって、寅さんたちの話し声までもが聞こえてきそうな臨場感に溢れるセットです。

昭和を知っている人も知らない人も楽しめる



山田洋次ミュージアムには、本物の撮影機材や台本などが展示されている。全作品の予告篇を楽しめる「柴又キネマ」など、山田監督・映画ファンなら心躍る内容だ。

シニアライフ・コンシェルジュが案内する 都内の名処



写真提供
葛飾柴又
寅さん記念館
©松竹(株)
山田洋次ミュージアム
©松竹(株)

『男はつらいよ』の世界観に浸る

CHAPTER
16

葛飾柴又寅さん記念館

東京に観光名所は数あれど

あまり知られていない

穴場スポットは数多く存在します。

そんな「都内の名処」を、

シニアライフ・コンシェルジュ

藤野政史がご案内します。

今月は、京成金町線

柴又駅より徒歩8分の

「葛飾柴又寅さん記念館」に

出掛けてみましょう。



ふじのまさみ
藤野政史

グローバルライフ株式会社
代表取締役
シニアライフ・コンシェルジュ
シニア世代の皆さまが楽しく、
笑顔で、遊び、学ぶ、集う会
「グローバルライフクラブ」を運営。

「都内の名処」を募集中!

グローバルライフクラブ 検索

0120-70-0202

葛飾柴又寅さん記念館・山田洋次ミュージアム

- 所在地／東京都葛飾区柴又6-22-19(葛飾区観光文化センター内)
- 電話番号／03-3657-3455
- 最寄駅／【電車】京成金町線「柴又」駅より徒歩8分 【バス】京成バス 金町駅-小岩駅(小55)「柴又帝釈天」より徒歩7分
- 開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日／第3火曜日(ただし第3火曜日が祝日・休日の場合は、直後の平日)、12月第3火・水・木曜日 ※年末・年始は開館しています。
- 入館料／【山田洋次ミュージアムとの共通券】一般 500円、児童・生徒 300円、シルバー 400円 【団体(20人以上)】一般 400円、児童・生徒 200円 【寅さん記念館&山本亭セット料金】一般 550円、シルバー 450円、団体(一般)450円 ※シルバー券(65歳以上)を当館窓口にて発売しています。
- ※お得な前売入館券を京成線主要駅で販売しています。
- ※障害者手帳等をお持ちの方と介護者(同行者)1名は無料です。当日、窓口のみのお取り扱いとなります。